

MC/MC-C, ME/ME-C 機関

HIP(Hot Isostatic Pressing)処理したスライド型燃料弁について

数年前に新世代の燃料弁として、燃料噴霧の改善による燃焼室の汚れ減少および排気煙濃度の改善などを目的として、いわゆるスライド型燃料弁が標題機関に採用されました。

このたび、スライド型燃料弁に高強度で耐磨耗性の高い工具鋼を母材として、ノズル先端部に耐熱性ニッケル合金材を HIP コーティングしたスライド型燃料弁ノズル（以下 HIP ノズル）がライセンサによって開発されました。

HIP ノズルの寿命は、サービス実績から従来の 8,000 時間から 16,000 時間にまで延長が期待できます。従来品とは互換性がありますので、今後スライド型燃料弁ノズルをご注文いただきました場合は、従来品の在庫がなくなり次第、HIP ノズルを供給いたします。

なお、HIP スライド型燃料弁の開放整備要領は以下のとおりです。

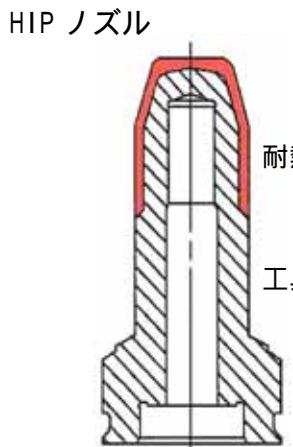
8,000 時間使用後

- 1 . 燃料弁を分解し、掃除する。
- 2 . ノズルに焼損やクラックがないか点検する。
- 3 . 燃料弁を組立復旧する。
- 4 . 作動テストを実施して開弁圧を確認・調整する（詳細は HSD-B0302 及び B0305 を参照ください）。

16,000 時間使用後

HIP ノズルとスピンドルガイドは交換してください。

スピンドルガイドはシート部の硬化層が極めて薄く、補修不可のため再使用できません。



耐熱性ニッケル合金

工具鋼



NOx 登録刻印
(従来品と同一)